

令和7年度 生涯学習講座一覧

実施日	講座名	演題	概要	講師	会場	参加人数
11月16日(日)	文学講座	『東海道中膝栗毛』を味わう～蔦重の店で働いていた十返舎一九～	『東海道中膝栗毛』を書いた十返舎一九は、大人気作家になる前、「べらぼう」の蔦屋重三郎をたよって江戸にやってきました。講座では、弥次郎兵衛と喜多八が伊勢に着く前の津でのドタバタ事件を取り上げ、『東海道中膝栗毛』の魅力について迫りました。	日本文学研究家 河原 徳子 さん	津市中央公民館	32名
2月21日(土)	歴史講座	津市内の中世伊勢神宮領	中世の伊勢神宮は、神前にお供えする御饌や禰宜の生活資金、神宮の経営資源などを手に入れるため、全国40か国に計600か所以上の御厨・御園と呼ばれる所領を持っていました。現在の津市内に当たる一志郡・安濃郡・菟芸郡には、御厨71か所、御園61か所の計132か所の伊勢神宮領があったとされています。講座では、その現在地がわかる御厨・御園の実態について、伊勢神宮との関係を中心に紹介しました。	皇學館大学 文学部国史学科教授 岡野 友彦 さん		38名

文学講座

参加者の感想

- 一人で読むには難しいけれど、河原先生の解説が面白くお上手で最高でした。三重県の地名も題材にしてもらい良かったです。
- 住んでいる所の地名が沢山出てきて興味がそそられた。
- 声に出して名作を読む。河原先生の名調子、聞きほれました。



歴史講座

参加者の感想

- 津周辺の地名が中世の神宮領由来と知って興味深かった。
- 当時の神宮領が津市にも多かった事が理解できた。
- 古い地名を残しておくのは大切だということに共感しました。

